

まちの話題

SHIMOTSUKE-CITY TOPICS

グリムの里新春書き 初め大会が開催され ました

1月6日(金)、日本古来の伝統文化「書き初め」が、石橋体育センターで行われました。

グリムの里新春書きぞめ大会実行委員会が主催する、34回目を迎えた本大会では、「新たな一年間の思いを筆に託し、元気で力強い書ぞめをしよう」をスローガンに、97名の児童生徒らが参加しました。

手本を見ないで、制限時間20分以内に3枚の清書用紙で、学年ごとに決められた課題を書きあげました。



関東ミニバスケット ボール大会連続出場!



古山ミニバスケットボールスポーツ少年団が、1月14日(土)から22日(日)にかけて行われた第43回全国ミニバスケットボール大会栃木県予選会に出場し、惜しくも準々決勝で敗れましたが、連盟の推薦を受けて、昨年に引き続き2年連続で第28回関東ミニバスケットボール大会に栃木県112チームを代表して出場が決まりました。キャプテンの蘆田さくらさんは「出場できてとてもうれしいです。関東大会では、チームのみんなで心を一つにして頑張ります。」と話してくれました。

「かんぴょう伝来300年」 かんぴょう給食を実施

1月19・20日、市内各小學校でしもつけかんぴょう給食が行われました。このイベントは、今年栃木県かんぴょう伝来300年を迎えることなどからPR及び市内小中學校の地産地消メニューを提供する毎月18日の「しもつけいっぱいデー」に併せたものです。

19日の祇園小で行われた会食では広瀬市長、永山教育委員長、古口教育長などが出席し、祇園小學校の吉葉栄養教諭からかんぴょう給食の献立の説明を受け、その後1年生の各教室で一緒にかんぴょう給食を食べました。



今回のメニューは

- ・かんぴょうのかきたま汁
 - ・かんぴょうのごま酢あえ
 - ・カンピクンコロッケ
 - ・カンピクン豆乳プリン
- いずれのメニューにもかんぴょうをふんだんに使用しており、その歯ごたえなどを楽しみました。

食後は集会が開かれ、かんぴょうクイズが行われ、会場に参加した「カンピクン」と一緒にクイズを楽しみました。

